

いきいき
元気に活動中

JAM滋賀シニアクラブ
年4回の行事で人と人のつながりを



「JAM滋賀シニアクラブ」は2003年の結成です。JAMの主要組合を中心に発足させ、順次他の組合に拡大を図っていますが、イメージ的に「顔見知りがない」、入会しても「馴染めない」等の声がありました。そこで、「人と人のつながりを深められる行事を」と考え、年に4回春夏秋冬に全会員に参加を呼びかける行事を行うことにしました。1月は「新春の集い」として講演と新年会を催し、4月は家族同伴の「お花見会（船からの海津大崎など）」を行い、9月はお札の印刷局やキリンビール等の工場見学やグラウンドゴルフで県内をマキノから土山までの各地を巡っています。10月末は定期総会で、第一部は各級議員の講演会、第2部が総会、第3部が懇親会です。

以上が私たちの年間の活動ですが、会員の多くが再就職や地域の役員をしているため、日程に苦労しています。

(JAM滋賀シニアクラブ 大西慶一)

「今度こそだまされないぞ」

内閣総理大臣が連続して政権を投げ出すという、前代未聞の大事件にもかかわらず、自民党は恥じるどころか、あつかましく国民を総裁選挙に巻き込もうと工作し、挙句の果に自民・公明・麻生内閣が誕生しました。しかし一週間もたたないうちに大臣が辞任するという舌禍事件、これではこの内閣は失格といわねばなりません。にもかかわらず国会冒頭の所信表明演説において麻生首相は、声を荒げて民主党に質問という国民軽視の選挙戦モード、あきれ返るばかりです。

さて、解散総選挙は必至の情勢、民主主義からいえばすぐにでも実施するのが筋ですが、はたしてどうなのか。アメリカの大統領選挙の影響を受けたくないとして11月2日説が流れていましたが、アメリカの金融危機は世界中に深刻な影響を及ぼし、麻生内閣は解散の決断をできない状況にあるといえます。しかしながら政府はこの状況を利用し、のらりくらりと景気対策などと称し、テロ特措法の延長を含めた国会運営と麻生内閣の延命策をとってくるのではないのでしょうか。つまり、アメリカの状況を理由にして国民の批判をそらし、落ちた支持率の回復を狙ってくるのです。このことは国民の政治に対する大きな批判、解散要求を無視した民主主義を否定する行為であり、断じて許せるものではありません。民

主党にもしっかりとがんばってもらって即時解散・総選挙を実施し、国民の生活を第一とする安心・安定の政治をつくりあげねばなりません。

選挙は蓋を開けなければ結果はわかりませんが、必ず政権交代ができるように、しっかりと自らの意思表示を行うことでもあります。小泉劇場と言われた前回の総選挙のようにしないために、「今度こそだまされないぞ」を合言葉として、がんばろうではありませんか。

山崎長榮 (連合滋賀高退協 事務局長)

政権交代をめざしガンバります!!

<p>たしま いっせい 田島一成</p> <p>滋賀第2区予定候補者</p>	<p>かわ たつお 川ばた達夫</p> <p>滋賀第1区予定候補者</p>
<p>おくむら てんぞう 奥村展三</p> <p>滋賀第4区予定候補者</p>	<p>みかづき たいぞう 三日月大造</p> <p>滋賀第3区予定候補者</p>

りりしっしん 滋賀

第26号 2008.10.10
発行所:連合滋賀・高退協
発行責任者:吉川 浩次
編集責任者:山崎 長榮
大津市松本2丁目-10-6
TEL 077-523-0500
FAX 077-523-5600

総選挙に勝利し、政権奪取を!
2008滋賀県高齢者集会を開催



連合滋賀・高退協は9月27日(土)滋賀ビルにおいて、県下各地から91名の会員の参加のもと、「2008滋賀県高齢者集会」を開催しました。

集会では民主党の田島一成衆議院議員から「民主党の当面の国会対策と政治情勢について」と題して講演を頂き、総選挙での勝利と政権交代をめざす熱い決意を参加者全員で共有しました。



高退協 吉川会長



連合滋賀 中村会長

主催者を代表して挨拶に立った高退協吉川浩次会長は「8月21日に開催したグラウンドゴルフ大会は、予想を超えるたくさんのホールインワンが出る等レベルの高い大会となった。来年も開催し高退協の恒例の催しとしていきたい。政治の状況をみると、もはや今の自民党には政権を担当する能力はない。安心して暮らせる老後を実現するためには総選挙で勝利するしかない。滋賀の四つの選挙区での民主党候補の勝利のために高退協としても全力で頑張りたい。また、高齢者家事サポート事業がいよいよ発足するので皆さんの協力をお願いしたい」と訴えました。

次に連合滋賀中村会長が「団塊の世代の定年で年々退職者が増えている。一人でも多くの人に高退協に入ってもらえるよう組織の拡大の取り組みもお願いしたい。総選挙も間近。政権交代のかかった選挙だ。各選挙区とも勝利し政権を奪取しよう」と連帯の挨拶を行いました。



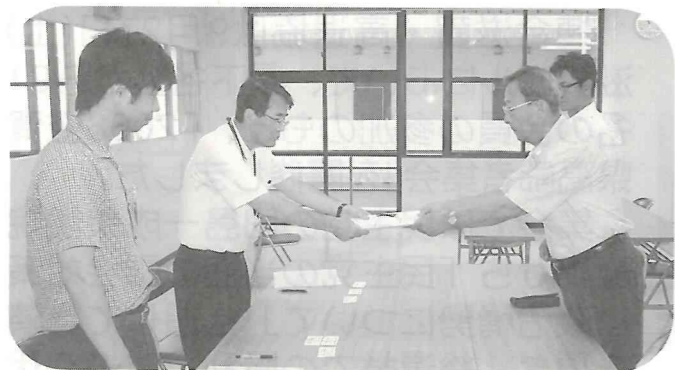
田島一成衆議院議員

その後、田島一成衆議院議員が講演を行い「汚染米の問題では農水省のずさんな対応と癒着構造も見えてきた。後期高齢者医療制度や年金問題等高退協のみなさんに大きな影響を与える課題も山積している。総選挙は政権交代の絶好のチャンスだ。滋賀の4人の選挙区での勝利で、国民の手に政治を取り戻そう」と力強く訴えました。

「後期高齢者医療制度の撤廃を求める」団体署名 「住民税の年金からの天引き反対」の要請書を提出



知事あて団体署名を連健康福祉部長に提出



広域連合長あて団体署名を若山次長に提出

連合滋賀・高退協は、後期高齢者医療制度の撤廃と今春の地方税法の改正に伴い来年の10月から予定されている「住民税の年金からの天引き」に反対する取り組みとして、構成組織による団体署名と議員要請書の取り組みを進め、それぞれ13組織、27団体分を集約。7月14日(木)に「後期高齢者医療制度に係る団体署名」については滋賀県および滋賀県議会、滋賀県後期高齢者医療広域連合および同議会に対し吉川会長より提出しました。また、国会議員あての「住民税に係る要請書」についても同日、県内選出の民主党の全国会議員の事務所を訪問し提出しました。

連合滋賀・高退協としては、今後も引き続き連合滋賀や民主党など関係団体と連携をはかりながら同制度の撤廃に向けた取り組みを進めていきます。

「衰退する地方の高齢社会」

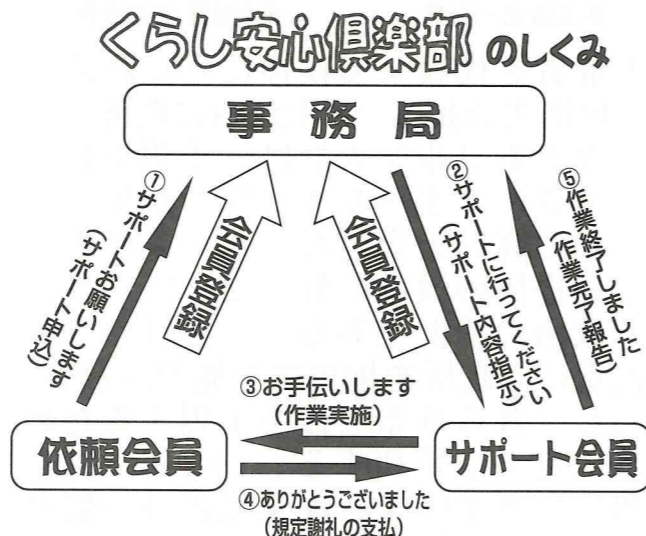
高島市の社協活動に関わっていて特に感じるのは、高齢者だけの世帯が増え続け、今では全世帯の半分に達しようとしており、その対策に追われているということである。県全体の高齢世帯が十数%であるのに比べ、極端に比率が高い。特に山間地では全世帯が高齢世帯という限界集落が多数ある。

このような地域では、病人が出ても医者にかかれず救急車の出動が絶えない。やむなく集落全戸が助け合いやサロン活動によって高齢者の孤立化を防ぐ努力がされているものの、孤独死で何日も発見されなかった事態も発生している。誰もが安心して暮らせる世の中を作るためには、地域や個人の努力が限界にきていると痛感する。国政による抜本的な対策が今こそ求められている。総選挙は近い。

中田暢夫 (農水省退職者の会・高島市社協理事)

しが高齢者家事サポート事業 『くらし安心倶楽部』のご案内

シニア世代の人々がお互いに助けたり、助けられたりしながら地域の中でいきいきと生活していくことを進めるシステムです。



【依頼会員】家事サポートをお願いしたい人
【サポート会員】家事サポートできる人
※お問い合わせは、滋賀県労働者福祉協議会内「くらし安心倶楽部」まで(TEL077-524-6290)

77名が交流を深めつつ熱戦を展開! 第1回グラウンドゴルフ大会を盛大に開催

連合滋賀・高退協第1回グラウンドゴルフ大会(後援:連合滋賀、労福協、近畿労働金庫、全労済、住宅生協)を8月21日(木)に竜王町総合運動公園・ドラゴンハットで開催しました。

当日は朝からの雨模様の天候も、屋根付きグラウンド「ドラゴンハット」の威力を発揮。また心配されていた厳しい残暑もこの日は秋を思わせる涼しい気温となり絶好のグラウンドゴルフ日和となりました。

連合滋賀中村会長をはじめ、現役役員も数名参加し、総勢77名が和気あいあいにプレーを楽しみました。プレーの結果は、事務局の予想をはるかに越える29人に「ホールインワン賞」が出るなど、みなさんの練習の成果と実力を存分に発揮されていました。後援を頂いた各事業団体をはじめ関係者の皆さんの協力を得て、高退協として初めての企画を成功裏に終えることができました。



プレー結果 (上位5名: 敬称略)

順位	氏名	所属	合計	ホール インワン	得点
【男子の部】					
1	松原 孝三	JAM滋賀シニアクラブ	80	1	77
2	稲田喜代司	UIゼンセンシニア友の会	86	2	80
3	本郷 清輔	UIゼンセンシニア友の会	83	1	80
4	依田 敏夫	郵政退職者会 滋賀通友会	84	1	81
5	佐野 良治	JAM滋賀シニアクラブ	82		82
【女子の部】					
1	山口 久子	郵政退職者会 滋賀通友会	88	2	82
2	小林三代子	滋賀県退職教職員協議会	91	1	88
3	山田 美智	NTT労組退職者の会	93	1	90
4	角 彰子	郵政退職者会 滋賀通友会	101		101
5	中西 寿枝	滋賀県退職教職員協議会	105	1	102